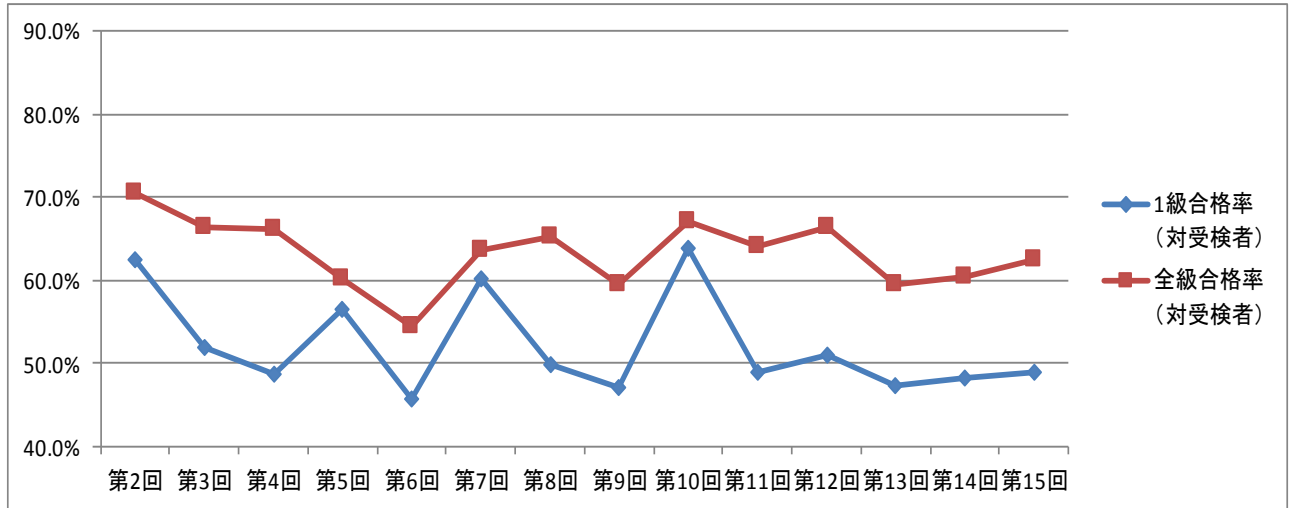


【2】1級の合格結果・出題ポイント・弱点

◆1級の合格結果

●1級の合格率 <未認定者含む、第1回は1級と2級未実施>

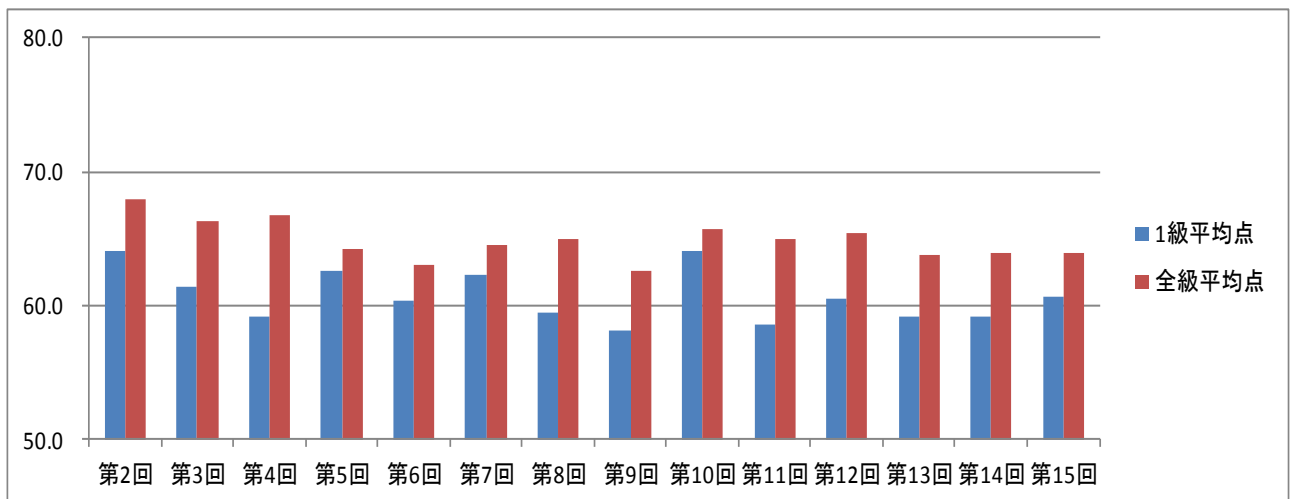
※ 第14回に比べ、0.6ポイントアップ



1級	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
申込者数	24	77	124	150	252	161	216	160	257	157	241	179	247	184
受検者数	24	77	115	145	247	156	205	155	244	153	231	167	238	174
合格者数	15	40	56	82	113	94	102	73	156	75	118	79	115	85
合格率 (対受検者)	62.5%	51.9%	48.7%	56.6%	45.7%	60.3%	49.8%	47.1%	63.9%	49.0%	51.1%	47.3%	48.3%	48.9%

●1級の平均点 <第1回は1級と2級未実施>

※ 第14回に比べ、1.4点アップ



	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
1級平均点	64.0	61.4	59.1	62.6	60.3	62.3	59.5	58.1	64.0	58.6	60.5	59.2	59.2	60.6
全級平均点	67.9	66.3	66.8	64.2	63.0	64.5	65.0	62.6	65.7	64.9	65.4	63.8	63.9	63.9

◆1級の出題ポイント <今回出題、前回出題の◎は計算問題あり>

単位	章	節	ページ	分野	今回出題	前回出題	出題数	配点		
第1単位	1	管理者の位置づけと役割		役割			今回 11	今回 19		
		1.2 管理者の具体的な役割	4-5		○					
	2	企業経営の目的・構造・業績		役割						
		2.2 企業経営の三次元構造	16-19		○	○				
		2.3 経営構造の原動力	20-23			○				
		2.4 企業業績と経営力	24-26		○					
	4	組織と機能		役割						
		4.2 組織と機能分担構造(組織形態)	46-54		○	○				
		4.3 組織とコミュニケーションネットワーク	55-56		○					
		4.4 組織の責任と権限の枠組み	57-62		○	○				
	5	管理者と行動科学		役割					前回 9	前回 18
		5.2 日本の経営風土特性	71-74			○				
5.3 日本における経営行動の考え方		75-79		○						
5.4 管理者としての適性		80-84			○					
6	管理者に求められる行動		役割							
	6.2 管理者の役割と行動	89-93		○	○					
	6.3 管理者は将来を考えて行動する	94-97		○						
第2単位	1	原価管理の構造		コスト			今回 13	今回 29		
		1.1 工場業績と原価管理	2-7		◎	◎				
		1.2 コストマネジメントの構造	8-13			○				
	2	コストマネジメントとしての標準原価と予算管理		コスト						
		2.2 標準原価管理のあり方	29-35		○					
		2.3 予算とその経営的機能	36-43			◎				
		2.4 予算管理と標準原価管理	44-50		○					
	3	設計・生産準備段階のコストマネジメント		コスト					前回 14	前回 33
		3.1 設計変更ロスとコスト面から見た設計部門の特性	54-60		◎	○				
		3.2 設計段階におけるコストマネジメント	61-71		○	○				
		3.3 生産準備段階のコストリダクション	72-78			○				
	4	生産段階のコストリダクション		コスト						
4.1 コストリダクションとコスト変動の認識		82-85		○	○					
4.2 工数削減と効果		86-93		◎	◎					
4.3 品質に関するコストリダクション		94-96		◎						
第3単位	1	経営と品質		品質			今回 10	今回 17		
		1.2 経営課題としての品質	5-12		○	○				
		1.4 品質ビジョンと品質戦略	16-22		○	○				
	2	工場における品質保証と工程管理		品質						
		2.1 工場における品質保証の基本	26-30		○					
		2.2 工程能力	31-34		○	○				
		2.4 管理図と工程管理	40-45			○				
		2.5 統計的品質管理	46-56		◎	◎				
	3	品質のための4M管理		品質					前回 10	前回 18
		3.2 品質安定化のための設備管理	66-70		○					
		3.4 標準化と規格化	75-80		○	○				
	4	品質保証の実現と高度化		品質						
4.2 品質リスクマネジメント		88-96		○						
第4単位	1	生産管理の目的と役割		納期・生産管理			今回 10	今回 23		
		1.2 生産管理とキャッシュフロー	5-10		◎	◎				
	2	生産管理の機能とポイント		納期・生産管理						
		2.1 販売計画と受注管理	14-18			○				
		2.2 在庫計画	19-25		○	○				
	3	サプライチェーンマネジメント(SCM)と今後の課題		納期・生産管理					前回 9	前回 19
		3.1 サプライチェーンマネジメント(SCM)の意義と対象範囲	46-53		○	○				
		3.2 サプライチェーンマネジメント(SCM)改革	54-64		○	○				
		3.3 SCM・生産管理の今後の課題	65-70		○					
	4	労働安全衛生マネジメントと安全文化の醸成		安全・環境					今回 6	今回 12
		4.1 安全活動の活性化	74-75		○					
		4.2 労働安全衛生マネジメントシステムの構築	76-78		○	○				
		4.3 安全文化の醸成	79-84		○	○				
	5	環境マネジメントシステムの有効活用		安全・環境					前回 8	前回 12
		5.1 環境と経営(QCD改善)の両立	88-90		○	○				
5.2 環境マネジメントシステムを有効に活用する方法		91-93			○					
		5.3 環境と経営の両立に役立つツール	94-99		○	○				
計								50	100	

まず、1 級の出題ポイントについて述べます。「役割」では『事業部制組織』『権限の本質』『部門管理者としての役割』『将来を考えて行動する』といった通常の管理者の知識やスキルはもちろんのこと、『経営志向領域』『管理レベル・経営環境と企業業績』『総合経営力』『日本における経営活動の考え方』など、経営という大きな視点で日々のマネジメントを実践しているかを確認する問題が出題されています。

「役割」以外の 4 分野においても、管理者必須の項目が出題されています。以下の内容を参考に、一つひとついねいに学習し、生産マスターの管理者として活躍していただきたいと思います。

●「品質」の主な出題

『バリューエンジニアリング (VE)』『工場の品質保証部門の役割』『Cp 値』『AQL を用いた抜き取り検査』『標準化と規格化』『品質リスクマネジメントの構築』

●「コスト」の主な出題

『損益分岐点』『予算管理と標準原価管理』『失われた機会損失、埋没コスト』『VRP におけるレンジ設定』『アボイダブルコスト』『改善可能な作業比率』『品質に関するコストリダクション』

●「納期・生産管理」の主な出題

『キャッシュコンバージョンサイクル』『在庫計画』『定期発注と定量発注の見きわめ』『生産計画と統制』『サプライチェーンのリスクマネジメント』『ブルウィップ効果』『SCM 改革』『SCM・生産管理の今後の課題』

●「安全・環境」の主な出題

『安全管理の効果的な進め方』『OHSAS18001 のマネジメントシステム』『安全文化』『資源生産性』『MFCA』

◆1 級の分野別得点率と弱点項目

第 15 回の 1 級は、「品質」と「コスト」の得点率が第 14 回よりも大きく上がったのですが、「役割」「納期・生産管理」「安全・環境」の得点率が下がりました。そのためか、合格率は下がりこそしましたが、第 14 回に比べて 0.6 ポイント (48.3%→48.9%) しか上がっていません。

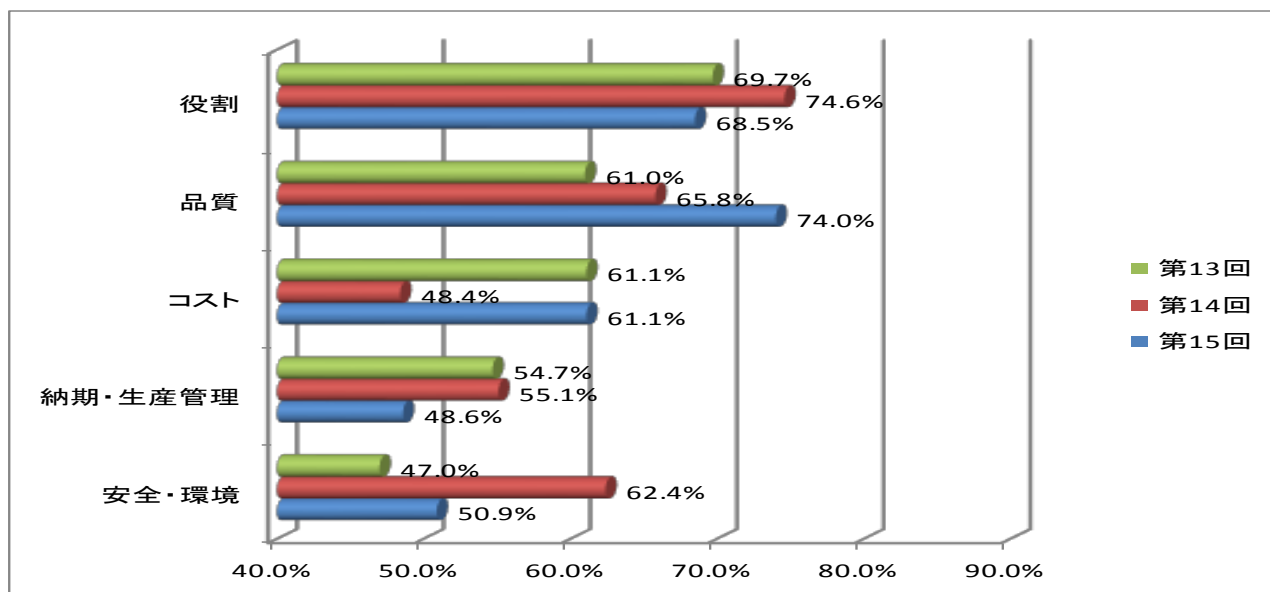
分野ごとの詳細を見ると、「役割」は『部門管理者としての役割：第 1 単位 P89-93』、「コスト」は『予算管理と標準原価管理：第 2 単位 P44-48』『埋没コストの計算：第 2 単位 P56』『VRP におけるレンジ設定：第 2 単位 P69』『品質に関するコストリダクション (変動加工費) の計算：第 2 単位 P95』、「納期・生産管理」は『キャッシュコンバージョンサイクルの計算：第 4 単位 P9』『定期発注と定量発注の見きわめ：第 4 単位 P22-23』『生産計画と統制：第 4 単位 P27-33』『SCM 改革：第 4 単位 P54』、「安全・環境」は『安全管理の効果的な進め方：第 4 単位 P74-75』『OHSAS18001 のマネジメントシステム：第 4 単位 P76-78』『資源生産性：第 4 単位 P89-90』『MFCA：第 4 単位 P94-96』が、芳しくありません。(なお、「品質」は、きわだった弱点項目はありません。)

特に、管理者である皆さんにとって必須の知識ともいえる「納期・生産管理」の『キャッシュコンバージョンサイクルの計算』の正答率が低いことは残念です。キャッシュフロー、キャッシュコンバージョンサイクルの改善・改革の視点である『情報の流れの改革、ものの流れの改革、お金の流れの

改革、情報・もの・お金の流れにかかわる全体システムの構築（SCM の実現）』を活用し、自社の状況を鑑みて改善・改革を検討することは管理者必須の業務です。その『検討する際のモノサシであるキャッシュコンバージョンサイクル』を理解していなければ、大きな改革はできません。管理者・工場長たる1級の必須要件ですので、必ずテキストを復習し理解を確実にしてください。

逆に、「品質」の得点率が74.0%と高かったことは特筆すべきことです。日ごろの皆さんの業務に対する姿勢と努力がそのまま表れているものと思います。

●分野別得点率



●分野別弱点項目

分野	弱点項目
■役割	・部門管理者としての役割
■品質	※弱点項目は、特になし
■コスト	・予算管理と標準原価管理 ・埋没コストの計算、VRPにおけるレンジ設定 ・品質に関するコストリダクション(変動加工費)の計算
■納期・生産管理	・キャッシュコンバージョンサイクルの計算 $\text{売上債権回転日数は } \frac{\text{売上債権額}}{\text{売上高}} \times 365\text{日}$ $\text{棚卸資産回転日数は } \frac{\text{棚卸資産額上}}{\text{売上原価}} \times 365\text{日}$ $\text{仕入債務回転日数は } \frac{\text{平均仕入債務額}}{\text{売上原価}} \times 365\text{日}$ キャッシュコンバージョンサイクルは、売上債権回転日数+棚卸資産回転日数-仕入債務回転日数 ・定期発注と定量発注の見きわめ、生産計画と統制 ・SCM改革
■安全・環境	・安全管理の効果的な進め方、OHSAS18001のマネジメントシステム ・資源生産性、MFCA